

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 芦田中 学校

年 目	中期経営目標 (※中期経営目標もこれでいくのか、新規の目標を立てるかを検討する。)	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							目標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	目標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
5	自らの考えを深め、課題を解決する力を育成する。	★	継続	課題に主体的に取り組み、解決策を考える力を高める。	課題設定の工夫と言語活動を効果的に仕組み、解決策を考える力を高める。	①「授業で考えることが面白い」②「授業で友達と協力してやりとげることが面白い」という生徒の肯定的評価を80%以上にする。	①82.4% ②89.3% ペア・グループでの学習が定着してきたことや、生徒が自分で課題を発見できるよう授業改善に取組むことで目標値を達成することができた。	3	3	友達の多様な意見をもとに解決策を考えることができるように、生徒のつぶやきを拾うことも含めた言語活動を充実させていく。また、単元の課題に対し見通しをもって取組みやすいように単元のまとまりを意識したワークシートを工夫する。					
2	他者への思いやりの心を育成する。		継続	自己と他者の良いところを認め、思いやりのある生徒を育てる。	思いやりの心を持って人と接することができるよう道徳や諸行事で自己を見つめる機会を持つ。	①「自分は他の人の役にたった」②「自分には良いところがある」③「他者の良いところ気づいた」という肯定的評価を80%以上にする。	①90.2% ②81.7% ③93.7% 行事をできるだけ生徒が主体的に行えるようにし、また、通信や掲示板を利用し肯定的な評価を行うことができた。	3	3	後半は前半ほど行事がなく自己を見つめたり他者のよいところにふれるチャンスが少ない。学年や学校全体での意図的な取組をし、自己を見つめたり他者とのふれあいを増やす取組を仕組む。					
5	たくましく生きるための健康・体力づくりを推進する。		継続	進んで体力を向上させようとする生徒を育てる。	生徒が主体的に体を動かすことができるよう、ペアやグループで助け合いながら生徒にあった課題を解決できる授業を行う。	①「体育の授業で進んで体を動かすことができた」という生徒の肯定的評価を90%以上にする。	①95.6% 生徒が主体的に体を動かせるよう、安心して学習に取り組める環境づくりを心がけた。環境や生徒の様子を見ながら適切な運動量になるよう配慮した。目標値を達成することができた。	3	3	親和的な雰囲気、進んで体を動かすことができていることをいかし、ゲーム性のある活動を取り入れることで、楽しみながら体力向上につなげていきたい。また、環境や自分の体調、運動課題に応じて運動が選べるしくみを導入していく。					
3	地域・保護者から信頼される学校運営を推進する。		継続	積極的な情報発信で地域・保護者から信頼される学校運営をする。	学校での取組や行事の計画、生徒の校内および地域ボランティア活動の様子を学校通信・学年通信・HP等で月1回以上発信する。	①「通信やHPで学校や学年の様子、地域ボランティア活動の様子がよくわかる」という保護者の肯定的評価の割合を90%以上にする。	①89.3% 各通信をHP等で校内の様子やボランティア活動の様子を保護者や地域に発信することはできたが目標の達成には少し達していない。	3	3	各通信の配付やHPの更新を継続して行い、配付物が届いているかにも注意する。このことを通して、取組みや生徒の様子がよくわかる。地域・保護者から信頼される学校運営を進める。					
			新規	教職員の元気が生徒の学びにつながるような学校運営をする。	年間計画を基に、早めに取り組みを始めるようにするとともに、データを共有してお互いに活用する。	①「授業づくりを行う時間が確保されている」という教職員の肯定的評価の割合を80%以上にする。	①42.9% 会議の精選やテスト期間中の採点時間の確保等取組は進めたが、まだ不十分であった。	2	2	学校・学年行事データの共有によるスムーズな起案、早めのスケジュール連絡による取組の割り振り等を継続して行い、業務改善を進める。					

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。